

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	校外実習
科目基礎情報					
科目番号	3404		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	情報コース		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	/備考欄参照				
担当教員	福見 淳二, 杉野 隆三郎				
到達目標					
1. 受入機関が社会から要求される問題を理解できる。 2. 受入機関が実践している安全や環境問題に対する対策を理解することができる。 3. エンジニアとして身につけるべき各種マナーが理解できる。 4. エンジニアとして必要な基本的コミュニケーションやプレゼンテーションができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	受入機関が社会から要求される問題を理解でき、問題を多面的に捉えることができる。	受入機関が社会から要求される問題を理解できる。	受入機関が社会から要求される問題を理解できない。		
評価項目2	受入機関が実践している安全や環境問題に対する対策を理解することができる。意義を説明できる。	受入機関が実践している安全や環境問題に対する対策を理解することができる。	受入機関が実践している安全や環境問題に対する対策を理解することができない。		
評価項目3	エンジニアとして身につけるべき各種マナーが理解でき、実践できる。	エンジニアとして身につけるべき各種マナーが理解できる。	エンジニアとして身につけるべき各種マナーが理解でき、実践できない。		
評価項目4	エンジニアとして必要な基本的コミュニケーションやプレゼンテーションができ、応用できる。	エンジニアとして必要な基本的コミュニケーションやプレゼンテーションができる。	エンジニアとして必要な基本的コミュニケーションやプレゼンテーションができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	企業・官庁・団体等（以下受入機関）において就業体験など研修・実習を受けることにより、将来エンジニアになるための心構えや自覚を促し、また社会生活を体験することにより視野を広げることを目的とする。通常7月から8月の夏季休暇中に実施する。9月（実習後）に成果レポートを作成、提出するとともにインターンシップ成果発表会で実習成果について口頭発表する。				
授業の進め方・方法					
注意点	受入機関に対して礼を失することなく、与えられた課題に対して前向きに取り組むとともに、職場で面倒を見ていただく方々に気持ちよく接することができるように心がけること。インターンシップは単なるアルバイトではないので、工業技術の専門について学ぶことはもちろんのこと、受入機関が社会からどのようなことを要求されているか、また安全や環境にどのように配慮しているかを学んでくること。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1. ガイダンス	インターンシップの意義および内容、実施の流れを理解する。	
		2週	2. 実習先決定	学生の実習先受入機関を決定し、受入機関に提出する履歴書や登録書を作成する。	
		3週	2. 実習先決定	学生の実習先受入機関を決定し、受入機関に提出する履歴書や登録書を作成する。	
		4週	3. 実習前説明会	インターンシップにおける全般的な注意事項について理解する。	
		5週	4. インターンシップ実施	夏季休暇中に5日間程度の期間で受入機関の指導の元に実習および研修を受ける。インターンシップ実施終了後は実習報告書（従事日誌）および成果レポートを提出する。	
		6週	4. インターンシップ実施	夏季休暇中に5日間程度の期間で受入機関の指導の元に実習および研修を受ける。インターンシップ実施終了後は実習報告書（従事日誌）および成果レポートを提出する。	
		7週	4. インターンシップ実施	夏季休暇中に5日間程度の期間で受入機関の指導の元に実習および研修を受ける。インターンシップ実施終了後は実習報告書（従事日誌）および成果レポートを提出する。	
		8週	4. インターンシップ実施	夏季休暇中に5日間程度の期間で受入機関の指導の元に実習および研修を受ける。インターンシップ実施終了後は実習報告書（従事日誌）および成果レポートを提出する。	
	2ndQ	9週	4. インターンシップ実施	夏季休暇中に5日間程度の期間で受入機関の指導の元に実習および研修を受ける。インターンシップ実施終了後は実習報告書（従事日誌）および成果レポートを提出する。	
		10週	4. インターンシップ実施	夏季休暇中に5日間程度の期間で受入機関の指導の元に実習および研修を受ける。インターンシップ実施終了後は実習報告書（従事日誌）および成果レポートを提出する。	
		11週	4. インターンシップ実施	夏季休暇中に5日間程度の期間で受入機関の指導の元に実習および研修を受ける。インターンシップ実施終了後は実習報告書（従事日誌）および成果レポートを提出する。	

		12週	4. インターンシップ実施	夏季休暇中に5日間程度の期間で受入機関の指導の元に実習および研修を受ける。インターンシップ実施終了後は実習報告書（従事日誌）および成果レポートを提出する。
		13週	4. インターンシップ実施	夏季休暇中に5日間程度の期間で受入機関の指導の元に実習および研修を受ける。インターンシップ実施終了後は実習報告書（従事日誌）および成果レポートを提出する。
		14週	4. インターンシップ実施	夏季休暇中に5日間程度の期間で受入機関の指導の元に実習および研修を受ける。インターンシップ実施終了後は実習報告書（従事日誌）および成果レポートを提出する。
		15週	5. 成果報告会	インターンシップで得られた成果をまとめ、受入機関関係者や制御情報工学科教員、クラスメイトの前で発表する。
		16週	5. 成果報告会	インターンシップで得られた成果をまとめ、受入機関関係者や制御情報工学科教員、クラスメイトの前で発表する。

後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	40	0	0	20	40	100
基礎的能力	0	10	0	0	5	10	25
専門的能力	0	10	0	0	5	10	25
分野横断的能力	0	20	0	0	10	20	50